

「全国産業廃棄物連合会 低炭素社会実行計画」のポイント

平成 27 年 6 月 2 日
公益社団法人 全国産業廃棄物連合会

新計画における地球温暖化対策のポイントは、下記のとおりです。

【削減対象】

中間処理業及び最終処分業における焼却や最終処分等の処理、収集運搬業における燃料消費等から排出される温室効果ガス（二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素）の排出量を削減対象としています。

【目標】

目標については、旧計画同様、貴正会員の会員企業が 2020 年度における温室効果ガス排出量を全体として基準年度の 2010 年度と同程度（±0%）に抑制し、2020 年度の目標達成は、2018 年度～2022 年度の 5 年間の排出平均値をもって評価します。

なお、2030 年度の目標については、国等からの十分な支援の下、2020 年度における目標と同程度以上とするものとし、具体的な目標値については、低炭素化に向けた取組の現状と見通しを踏まえ、今後検討することとなります。

【取組】

削減対策の取組の方向としては、中間処理業、最終処分業、収集運搬業における各業種の特徴を踏まえた下記の温室効果ガス排出抑制対策が想定されています。

中間処理業	<ul style="list-style-type: none">・ 焼却時に温室効果ガスを発生する産業廃棄物の 3R 促進・ 産業廃棄物焼却時のエネルギー回収の推進・ 温室効果ガス排出量を低減する施設導入・運転管理
最終処分業	<ul style="list-style-type: none">・ 準好気性埋立構造の採用・ 適正な最終処分場管理・ 生分解性廃棄物の埋立量の削減・ 最終処分場周辺地及び処分場跡地の緑化・利用
収集運搬業	<ul style="list-style-type: none">・ 収集運搬時の燃料消費削減・ 収集運搬の効率化・最適化・ バイオマス燃料の使用
全業種共通	<ul style="list-style-type: none">・ 省エネルギー行動の実践・ 省エネルギー機器への買い替え

【実態調査】

会員企業に対する実態調査を実施し、新計画の進捗状況を定期的に点検・評価して行きますので、ご協力を賜りますようお願い致します。

なお、各業種における個別の目標については、実態調査等による情報収集を実施しながら、具体的な検討を行って行きます。